投資家情報

採用情報

ホーム > サステナビリティウェブサイト > クラレCSRレポート2019 > サステナビリティマネジメント・推進体制

サステナビリティマネジメント

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

コンプライアンス・ ハンドブック

トップステートメント

サステナビリティマネ ジメント・推進体制

クラレグループのマテ リアリティ

活動目標と成果

リスクマネジメント・ コンプライアンス

品質マネジメント

安全報告

環境報告

社会性報告

コーポレート・ ガバナンス

GRIスタンダード対照表 (内容索引)

クラレレポート / バックナンバー

ランドセルは海を越えて

クラレグループのマテリアリティ

活動目標と成果

リスクマネジメント・コンプライアンス

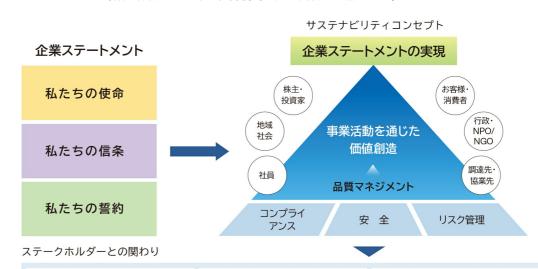
品質マネジメント

基本的な考え方

クラレグループは、優れた製品・サービスの提供を通じて経済的・社会的な価値を創造し、サステ ナブルな社会の実現に寄与していくことを目指しています。

独創的な技術を生かしたクラレグループの事業は、省資源、省エネルギー、環境保全、生活の質向 上など多くの社会的課題につながっており、それらの解決が私たちに課せられた最も基本的な責任で あると考えています。私たちは「コンプライアンス」「安全」「リスク管理」を土台とし、ものづく りにおける「品質マネジメント」により価値創造を下支えすることで、企業としての社会的責任を果 たしていきます。

クラレグループの企業活動は、お客様・消費者、株主・投資家の皆様、調達先・協業先、社員、そ して地域社会や行政など、多くのステークホルダーとの関わりによって成り立っています。各ステー クホルダーとの対話と協働をより深め、持続的成長の実現を目指します。



株主・投資家

企業価値の拡大を図り、株主・投資家の皆様に 利益を還元し適正な情報開示を行います。

調達先・協業先

相互発展的な関係構築に努め、公正・透明な取引 とCSR調達の取り組みを推進します。

多様な人材が公正に扱われ、能力を最大限に発揮 できる安全で健康的な職場づくりを進めます。

地域社会

環境保全・安全確保に配慮し、積極的なコミュニ ケーションで良好な共生関係を築いていきます。

行政·NPO/NGO

透明なコーポレート・ガバナンス体制のもと、 健全で前向きな協働関係づくりに努めます。

お客様・消費者

「安全・安心・満足」な製品・サービスと適切な情報 の提供により、長期的な信頼関係を築いていきます。

ステークホルダーとのコミュニケーション

| ステークホルダーコミュニケーション | | | | |
|-------------------|---|--|--|--|
| 株主・投資家 | 株主総会、事業所見学会、決算説明会 | | | |
| 調達先・協業先 | 購買活動、安全協議会、連絡会等 | | | |
| 社員 | 従業員意識調査、労使協議、人事評価面談、社内報、行事/イベント | | | |
| 地域社会 | レスポンシブル・ケア地域対話、地元自治会との意見交換会、工場見学会、少年少女化 学教室、観桜会/夏祭り等 | | | |
| 行政・NPO/NGO | 工場見学、消防訓練、ボランティア活動 | | | |
| お客様・消費者 | 営業活動、展示会(エコプロダクツ展など)、アンケート | | | |

価値創造を支える基盤としての非財務資本

私たちの企業活動は、株主・投資家の皆様からお預かりした資金を事業に投入し、より高い価値を付加した多種多様なナンバーワン・オンリーワン製品やサービスを提供することで得た財務価値を分配・再投資する「バリューチェーン」を形成しています。持続的な成長・発展に向けて価値創造の連鎖を支えていくために、素材から加工に渡る幅広い基盤技術である「知的資本」、人材のダイバーシティを目指す「人的資本」、グローバルな生産体制に代表される「製造資本」、ステークホルダーからの信頼である「社会関係資本」といった「非財務資本」の強化に努めています。

また社会貢献活動などを通じて、世の中に適切な形で収益を還元することも重要な責務であると捉えています。

さらに、「非財務資本」に配慮したサステナブルなサプライチェーンの形成を目指していきます。

バリューチェーン



推進体制

クラレは2003年に社会環境委員会と企業倫理委員会を統合して「CSR委員会」を設置し、グループとしてのCSR推進体制を強化しました。2018年現在では、「CSR委員会」と「Jスク・コンプライアンス委員会」の2つの委員会に機能を分割し、両委員会を軸にグループ全体のCSR推進活動を進めています。

「CSR委員会」は、傘下に6つのワーキングチーム(環境保全、温暖化対策、品質管理・製品安全、フィランソロピー、労働環境、情報管理)を設け、全社的方針や目標を検討して経営に提案するとともに、選択されたテーマについてグループの各組織と連携し取り組んでいます。

「リスク・コンプライアンス委員会」は、取締役会に直接報告を行う委員会で重要リスクへの重点 対策と法令遵守・企業倫理の徹底・公正な企業活動を実践すべく活動を行っています。

| 企業情報 | 製品情報 | 研究開発 | サステナビリティ | 投資家情報 |
|-----------|-----------|-------|---|----------|
| 会社概要 | 事業から探す | 基本方針 | 企業ステートメント | 経営方針 |
| ごあいさつ | 製品名から探す | 技術と製品 | クラレグループ行動規範 | IRニュース |
| 企業ステートメント | キーワードから探す | 組織・体制 | クラレグループ人権方針 | クラレって? |
| 役員 | 製品のはてな | 歴史 | トップステートメント | 業績・財務情報 |
| 組織図 | | トピックス | サステナビリティ長期ビジョ ン・サステナビリティ中期計 画 | IRライブラリー |
| 沿革 | | | | 株式情報 |
| 主な受賞歴 | | | | IRカレンダー |
| 主要グループ拠点 | | | ティ | よくあるご質問 |
| 会社案内動画 | | | Planet | |
| テレビ番組動画 | | | Product | |
| 広告ギャラリー | | | People | |
| | | | ガバナンス | |
| | | | GRIスタンダード対照表(内 容索引) | |
| | | | クラレレポート(統合報告 書) / サステナビリティウェ ブサイト | |
| | | | ランドセルは海を越えて | |
| | | | イニシアティブ | |
| | | | | |